

SGH アジア探究（英語系） 活動報告

アジア探究（英語系）は6月4日までは、アジア探究文系社会系統と共通の講義を受け、6月11日より英語系独自の講座を開講しています。

6月11日・25日 関西学院大学国際学部・鷲尾 友春教授 「ASEAN」「ASEANと日本」

事前資料として、7ページの英語論文を読み、1960年代から現代に至るASEANに関する講義（日本語）を受けました。「情報」を分析し、それを「知力」に変えるという大学における「学び」を知ることができました。

6月18日 関西学院大学産業研究所・市川 顕准教授 「ASEANとEU」

事前資料のレジュメは英語。講義は日本語で、アジアとヨーロッパにおける「統合」の違いを学びました。

7月9日・16日 関西学院大学社会学部 陳 立行教授による英語授業

9日は、本校の姉妹校ケントウッド・ケントウッド高校の留学生4人も参加し、4グループに分かれ、ワークショップ形式で、「移民」をテーマに、英語で発表を行いました。各グループに留学生が1人いたこともあり、スムーズに発表ができました。

16日は、本校生徒のみで3グループに分かれ、発表しましたが、前回の経験を生かし、それぞれ工夫して発表を行っていました。

次回の英語授業は10月8日です。それまでに、生徒たちは研究テーマの設定に取り組み、研究を深めていく予定です。

